



介護百人一首

「ユーアイホーム版」



このたび、介護百人一首ユーアイホーム版として職員に募集しましたところ、多くの短歌が寄せられました。

施設に入居されている方々との日々の介護の中で、共に笑い、悲しみ、励ましあつて生きていく姿が見られ、どの歌にも介護員という職業から生まれる、人を思うやさしさにあふれていました。

又、職務を離れ家庭での日常生活の中から、大切な家族を思い、親しみとユーモアを込めた歌もありました。

職員の中には、まだまだ言葉にできない多くの思いがありますが、歌に書くことで、自分の内面の心に気づき、明日への新たな決意ができることを信じています。

私たちの拙い歌ではございますが、お目を通していただけましたなら幸いです。

平成二十五年八月吉日

社会福祉法人矢祭福祉会

特別養護老人ホームユーアイホーム施設長 金澤健至

毎日の 暑い盛りの リハビリに
励む姿に 心打たれる

業務の 忙しさにも 皆様の
笑顔に和む 介護員たち

人生は 暗い影あり 日向あり
楽しく暮らす ユーアイホーム

仕事終え 疲れて帰宅 玄関で
笑顔の子供 疲れ吹き飛ぶ

父母の背を 見ながら思う年老いた
自分も同じ つくづく思う

祖母の顔 デイケア通いいきいきし
笑顔があふれ 私ほほえむ

腰痛の 利用者持ち上げ 腰痛め
やっと身につく 利用者目線

おはようと 元気な声でごあいさつ
笑顔の利用者 外は星空

我が想い 利用者には 届かずに
空回りして 苦笑いする

亡き父の 一年供養 集まりて
笑顔で話す 父見てるかな

いわき市の 三年ぶりの海開き
震災思い 今も忘れず

日々暮らす 施設の窓に移りゆく
季節眺めて 何を思うぞ

利用者の ありがとうの一言に
疲れ忘れて 仕事励まん

掌が 無言で語る 苦勞した
自分の手みて まだ頑張れる

ご利用者 目線の先に 介護員
今日も笑顔で 快活介護

同じ事 繰り返し聞く 利用者
笑顔が先のコミュニケーション

毎日の 介護現場に「ありがとう」
笑顔で言われ 心あたたか

また明日 笑顔で手を振る利用者に
明日への元気 いただいています

何処にいる 福祉という名の青い鳥
探しつづけた 二十二年

福祉ってキリがない？それちがうよ
ひとりでも おおく支えること

祖母のメモ 数年先の 年金を
夢ふくらませ 届かぬ思い

亡き祖母と 共に送った 幼少期
古傷さえも 消えぬ思い出

歌を聞き 昔なつかし 思い出を
笑顔で話す 誕生会

風呂の中 私の名前 指さして
声は出せねど 書いては笑顔

介護員 無理せずやるな 慌てずに
いつも笑顔で 接しましょう

愛し合い いつも笑顔でやさしさと
苦にはしません 長生きしてね

けられても 笑顔浮かべて介護する
心はいつも どしやぶりだ

徘徊の 不安な気持ち 理解して
心寄り添い 朝が来る

亡き父を 良く知る彼は 同い年
おもかげ重ね 介護する日々

若き日の 思いで歌い 懐かしむ
笑顔を見せて 楽しき日々よ

入居者の 笑う顔見て 今は亡き
母の姿を 思い重ねる

夏祭り 太鼓聞く顔 若き日を
思い浮かべて 踊る入居者

「ありがとう」言葉をもらい
笑顔あり 初心に戻り
力わきけり

この仕事 やさしさだけじゃ
つとまらない やる気
やりがい 常に勉強

年を老い 受け入れられぬ 現実を
互いに助け 最高の日を

一言が とてもうれしい

「ありがとう」

励みになるよ 満面の笑み

亡き祖母の 多き思いで振り返り

涙あふれる 幸せな日々

ひさしぶり 面会に来た家族を見
いつもと違う 笑顔に変わる

人生の 心得教え 若者に

「必ず来るよ 幸せなこと」

介護とは やさしい心 思いやり
思うにならず 日々考える

ありがとう 忘れし頃に 笑顔来る
介護の疲れ うれしさに

ひさしぶり 地元の友に 再会し
友は大人び 我はまだ子供

介護する 嫁の姿に ありがとう
健康な頃 嫁こきつかう

福島に 必ず還れと 心願う
光る阿武隈 ほんとうの空

最高齢 九十八歳 大正生まれ
明治は遠く なりにけり

夏の時期 中庭見では 微笑んで
やっと出来たと 野菜採取

体重が 重くなつたと 利用者は
一緒に運動 機能訓練

手をひいて 隣歩けば気づくこと
歩み進める 歩幅の小ささ

あたりまえ 幸せなことと教えられ
学び多き 介護の現場

夏まつり ごちそう食べて歌聞
花火も見れて 誰もが笑顔

畑には キュウリ スイカに
ゴーヤまで たわわに実り
もう食べ頃だ

中庭の ひまわりが咲き 老人の
我が家を思う 夏の空なり

握手した 小さな子の手の
やわらかさ 生きる力を
もらった夏の日

仏壇で 小さな手あわせ 拝む子に
「ありがとう」と 涙ぐむ母

妻の顔 娘の顔も 忘れたが
大好物には につこり笑顔

立てずとも 歩けなくとも

ヘルメット せまりし工期

我は親方

